

● **里山農園 10日 秋冬野菜種まき** 7名が参加 大根 丸大根 オオカブ 小カブ ミズナ ヒノナをまく

集まったもので元気に種まきを行いました。日照の関係からハウレンソウについては後日としました。いずれも昨年通りの広さにまきました。翌日から発芽のために水まきを手抜きできません。この一週間細心の注意が必要です。

● **里山講演会開催 11日(日) 13:00 開場** 当初の参加予定は20人を見込んでいましたがなんと約二倍の35人がご参集です。開演前に満員になりました。報告4件と特別講演と連続する企画で時間が足りないのではないかと予想していました。トップバッターの小林君が予定時間に姿が見えず、いきなり計画変更です。繰り上がった北野大輔君からは琵琶湖内湖の生き物、そして中栄玲志君からは木津川と亀、橋口峻也君から森里川海の連環について詳しく分かり易い発表が行われ、最後の小林君からハワイでの研修で得た川の始まりの姿が報告され、参加者から次々と登場した報告がよかった・知らない事実を沢山身につけられたと高い評価が感想文で届けられました。そして木津川でアユの研究をしておられる谷口さんから特別講演があり、遡上アユの産卵が木津川で見られると、びっくりするお話が続きました。質問時間で内容をさらに深められませんでした。素晴らしい発表内容がその不足補って余りある豊かな講演会になりました。報告と講演いただきました皆様ありがとうございました。

● **新レンジャー誕生 中西カヨ 南良さん 河川レンジャー合格** 故柴垣レンジャーが採用されて以来4年ぶりに木津川関係で河川レンジャーが2名誕生しました。待ちに待った新レンジャーの誕生です。直近で小泉さんが採用されましたが、試行段階で辞退されました。これまで数人のレンジャー候補がおいでになりましたが、いずれも予想できないハプニングが発生して木津川では本格的な誕生には至りませんでした。中西カヨさんと南良さんが見事にプレゼンテーション審査に合格されました。お二人は日頃から里山の会の活動や河川レンジャー活動に参加され、活動の内容についてはご理解が進んでいて、試行とは名目上だけであって、活動内容には自信を持っている実力の備わった素晴らしい人材です。お二人は里山の会の会員です。会員各位には今後企画される活動にお力添えいただきますようお願いいたします。

● **里山の会の課題 5題** 里山講演会で常務理事の山村が里山の会の現状と課題について次のように報告いたしました。1、里山農園でのササユリ問題を基本として里山農園の目指す将来像(目的)は、自然を大切に作る仲間の輪を大きくする活動の在り方や、必要性について学習を深めること。2、教育棟や観察棟と豊かな自然環境からの学びの場をどう作るのか、学習と体験、調査と観察・記録の場としての企画や機会の設定。3、カスミサンショウウオの発見と調査から貴重な自然の保全と生育観察記録の積み上げ。4、自然歴史博物館の実現へ進む取組みの推進力になる活動の追求。5、木津川渡しの浜親水公園の実現に向かう、魚とり場の整備などの推進。といった提起を行いました。

● **新米注文の受付** 台風来襲の季節となってきました。二百二十日も過ぎましたが、遅く上陸してくるものほど強力だともいわれています。収穫の秋を迎えて、少し心配です。今年も例年通り普賢寺の谷での美味しい新米の提供の時期に差し掛かり、稲穂の黄色が増してきています。これまでご希望にこたえられるよう取り組みを進めてきましたが、今年も例年通り受付を行います。ご注文がありましたら、できるだけ早くご連絡ください。月末には新米をお届けすることができるのではないかと思います。里山の会事務局へのFAX、または大村さんまで電話でお申し込みください。

● **会誌41号原稿募集** 締め切り日9月20日となっています。前40号の編集が印刷直前まで原稿到着が遅れ、目次の作成が間に合わないかという事態でした。この教訓から締め切り日を厳格にして、お願いしている原稿が遅れた場合は次号に回していこうとなりました。各位におきましてはご多忙のところでしょうが、会誌の継続発行には、まず第一に締め切り日をしっかりと守っていただくという第一歩が必須です。40回を数え200ページになる素晴らしい機関紙です。発行担当者に無理をかけないで気軽に推進できるよう、会員皆様の絶大なご協力をお願いいたします。「言うは易し」で、実行は中々難しいものです。よろしくをお願いいたします。

● **第4回目の笠置から大阪までの地域をつなぐカヌー下り 11月20日 26日 27日に実施決定。** 9月12日に琵琶湖淀川流域圏連携交流会幹事会が開催され、今年のカヌー下りが正式に決定されました。初日は11月20日(日)午前9時笠置を出発し、京田辺市・近鉄鉄橋をゴール、二日目は11月26日(土)9時30分近鉄鉄橋をスタート、正午に三川合流、また26日には同時刻に宇治川の京都大学防災ラバトリーからも出発、正午に三川合流で木津川クルーと合体の予定です。二日目の木津川クルーには松尾芭蕉に扮した人物を、宇治川クルーには一寸法師に扮した人物を乗船させる楽しい取り組みを企画します。合流合体して点野をゴールにいたします。三日目は動力船に一寸法師・松尾芭蕉・お姫様の3人を乗せて、点野を9時30分に出発。1時過ぎを目途に毛馬の閘門を通過、桜ノ宮公園に15時ゴールの予定、到着後打上げ会を予定しています。奮ってご参加ください。

● **里山農園総行動日 全会員のご参加を呼びかけます**

9月24日(土)25日(日)各組2時間の作業時間をお願いします

第1組集合10時、第2組集合12時30分、第3組集合15時00分、

最初に専門家による草刈り(機)の講習を行います

里山農園の素晴らしい自然については言うまでもありません。これまでお茶会や七草摘み、春の野草を味わう会、オオムラサキ観察会、カスミサンショウウオの発見、野菜の栽培など里山の会の重要な役割を果たしてきました。この整備を全会員で行うことにしました。作業時間は一組2時間を予定しています。あっという間の作業です。全会員のご参集とご協力をお願いいたします。